

指導の狙い 必要な情報を得るために、新聞記事を効果的に読む。

- 問題の概要 A⑥一 新聞記事の構成を説明したものとして適切なものを選択する。
A⑥二 新聞記事の中で問題となっている事実を捉えて書く。

学習指導要領における領域・内容 [第5学年及び第6学年] C読むこと オ

授業アイデア例 例1 は出題した内容を取り立てて指導する例 例2 は出題した趣旨を踏まえ単元化して指導する例

例1 新聞の報道記事の特徴の一つである、逆三角形の構成について注意しながら読む。

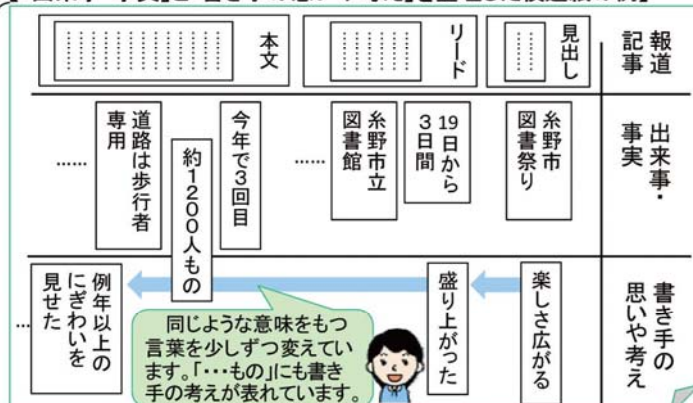
- 1 新聞の報道記事を読み、見出し・リード・本文に分けて切り取り、模造紙に貼る。
例：平成23年度調査A⑥ 新聞記事
小学生用の新聞の記事など

- 2 見出し・リード・本文のそれぞれの内容を「出来事・事実」、「書き手の思いや考え」に区別し、カードに簡潔に書き出す。
書いたカードを順序よく模造紙に貼る。

- 3 「出来事・事実」と「書き手の思いや考え」とを関係付けながら、分かったことを話し合う。

- 4 新聞の報道記事の特徴の一つである、逆三角形の構成についてまとめる。

【「出来事・事実」と「書き手の思いや考え」を整理した模造紙の例】



【逆三角形の構成】
見出し……記事の内容が一目で分かる要約
リード……記事の内容を簡潔にまとめたもの
本文……記事の詳しい内容

本文だけでなく、見出しやリードの短い文や文章の中からも、書き手の思いや考えが伝わってきます。

報道記事は、右のような逆三角形の構成になっていることが分かりました。それぞれを関係付けるとともに、写真や図表なども合わせて読むことが大切だと思います。

例2 新聞を比べて読み、編集の仕方や記事の書き方について分かったことを報告する。

第一次

- 新聞は、社会・経済・政治・教育・文化・スポーツなどの内容が取り上げられていることを話し合う。
- 学習課題「2社の小学生用の新聞を比べて読み、分かったことを報告しよう」を設定し、学習計画を立てる。(教師が、小学生用の新聞を二日分用意する。)

第二次

- 2社の小学生用の新聞に共通する記事をモデルとして読み、次のような比べる事柄を設定する。
 - ①見出しの内容 ②リードや本文の内容 ③分量及び構成
- 各グループで2社に共通する記事を分担し、比べる事柄に合わせて分かったことをワークシートに書く。
- 各グループで「内容や構成の面から見た分かりやすさ」、「書き手のものの見方・考え方」の二つの点について考えたことをまとめる。

第三次

- 新聞の編集の仕方や記事の書き方について分かったことや考えたことを報告し合い、まとめる。

【2社に共通の記事を比べて整理したワークシートの例】

分量及び構成	リードや本文の内容	見出しの内容	比べる事柄
約二〇〇〇文字 これまでの活躍の歴史を年表で示している。	本文には、〇〇選手の当日の朝からの行動などを順序よく書いている。	「世界一〇〇選手」と書いている。	〇〇選手が△△大会で優勝したこと
約四〇〇〇文字 過去の活躍や、インタビューの記事を、顔写真入りでまとめている。	本文には、優勝を決めたときの〇〇選手の様子や、それを看守る人の子を中心に書いている。	「〇〇選手 世界を驚かす」と書いている。	考えたこと
分量は、B新聞の方が多く、選手活躍を広く伝えようとする書き手の考え方が分かる。	リードは、どちらも簡潔に分かりやすい。A新聞は、本人の一日の様子を中心に書いているのに対し、B新聞は、わずかな時間の人々の動きをくわしく書いている。	事実のみであったり、書き手の思いや考えを加えたりしている。	

留意点

新聞は、目的に応じて摘読したり、分析的に読んだり、比べて読んだりすることが大切である。そのことにより、自分の考えを広げたり、深めたりする態度を育てることが重要である。なお、小学校学習指導要領解説国語編(平成20年告示)では、[第3学年及び第4学年]の「B書くこと」の言語活動例として、「学級新聞などに表したりすること」を位置付けている。新聞を読む能力と書く能力とを連動させながら系統的に指導していくことが大切である。